

COLUMN

## 龍馬は下田から翔けた

文監修：伊豆龍馬会

文久3年(1863)1月、龍馬らを率いた勝海舟一行が乗船する順動丸が、悪天候の為、風待ちで下田港へ入港。そこにまさに天のいたずら、第15代土佐藩主・山内容堂(やまのうちようどう)率いる土佐藩一行が同じく風待ちをするため下田・宝福寺に逗留していました。海舟は、容堂の招きで宝福寺に参上、すかさず龍馬の脱藩赦免※を願い出ました。その海舟に対し、大酒飲みの容堂は、海舟が下戸であることを知りつつも、酒を杯になみなみと注ぎ、「まずは一献」と海舟に差し出しました。龍馬の脱藩赦免が欲しい海舟はその杯の酒を一気に飲み干し、脱藩赦免の証に容堂の軋筆を求めました。容堂は軋筆の代わりに「歳時三百六十回 鯨海酔候」と白扇に書き記し海舟に渡したとされます(海舟の「亡友帖」より)。この海舟の働きかけにより自由の身となり、脱藩罪という手かせ、足かせがとれた龍馬は、天馬となり飛翔しました。これが「龍馬飛翔の地・下田」とされる由縁です。※土佐藩を脱藩した龍馬の罪を藩主に許してもらいたい



TITLE  
坂本龍馬飛翔の地

#坂本龍馬  
#脱藩赦免  
#勝海舟と山内容堂  
#宝福寺

下田  
SHIMODA

30  
COLORS PROJECT

POINT

### 坂本龍馬 早わかり年表

- 1835年(天保6) 高知県に生まれる
- 1854年(安政元) ペリー艦隊が下田港に来航
- 1858年(安政5) 北辰一刀流長刀兵法目録を受ける  
安政の大獄
- 1860年(万延元) 桜田門外の変で井伊直弼暗殺される
- 1861年(文久元) 土佐勤王党に加入
- 1862年(文久元) 勝海舟に弟子入り
- 1863年(文久3) 宝福寺にて脱藩の罪が許される(2月)  
神戸で勝海舟の海軍塾・塾頭になる
- 1864年(元治元) お龍と内祝言(結婚)  
池田屋騒動  
下田で蝦夷開拓の夢語る
- 1865年(慶応元) 長崎にて亀山社中を設立
- 1866年(慶応2) 薩長同盟設立
- 1867年(慶応3) 船中八策を提案(6月)  
大政奉還成立(10月)  
京都近江屋で中岡慎太郎と共に襲撃を受け、  
龍馬絶命(満31歳)(11月)  
京都東山の霊山に埋葬される
- 1868年(慶応4) 五箇条の御誓文 発布  
江戸城無血開城  
海援隊解散  
明治維新

### 幕末の風雲児・坂本龍馬

ここ下田は、開国の「風待ち港」として数々の英傑たちが行き交う幕末の交差点。迫り来る異国の脅威に日本の未来を案じた龍馬は、土佐を脱藩し、追っ手の目を逃れながら自らの進む道を探し、流浪の旅に出ます。そして、生涯の師・勝海舟と出会います。意気投合する龍馬と海舟でしたが、龍馬は脱藩罪を背負う罪人でした。そんな二人を気まぐれな時代の風が下田へと誘いました。



## 下田の旬の情報は 公式アカウントで!

風景、遊び、グルメなど。  
下田の旬の情報を公式アカウントで発信中。  
ぜひ、アクセスしてみてください!



公式ホームページ

<https://www.shimoda-city.info>

- Instagram: [shimoda\\_kanko](#)
- YouTube: [@shimodakanko](#)
- Facebook: [下田市観光協会](#)
- Twitter: [@shimoda\\_kanko](#)



あなたの素敵な写真を

#下田 で投稿してください

伊豆下田で  
あなたにぴったりの  
旅が見つかる

30  
COLORS PROJECT



下田市観光協会公式サイトで  
下田 30 カラーズを  
ご覧いただけます。

下田 30 カラーズ



ライブカメラで  
下田の今を生配信



Live Shimoda



お得なクーポン付  
下田ガイドマップ  
市内各所で配布中

#### 配布スポット

下田市観光協会、下田市観光協会駅前案内所、道の駅開国下田みなと、下田市内各施設、下田市内各宿泊施設など

## 下田 30 COLORS PROJECT

企画・編集・発行  
一般社団法人 下田市観光協会  
TEL.0558-22-1531

※本紙掲載の料金は、原則として消費税込みですが、実際の料金と異なる場合があります。  
※本紙の著作権は下田市観光協会が有しております。  
※許可無く、使用されている画像の流用・転載などは固くお断りします。

